

屋久島町立 金岳小・金岳中学校

金岳だより

平成三十一年 三月 二十五日 発行

お世話になりました

早いもので、平成三十年度が幕を閉じようとしています。金岳小学校の校舎建設も月日を追うごとに完成に近づき、校舎の姿も目に見えてわかるようになってきました。新岳噴火による一時避難もありましたが、保護者や地域、関係機関の方々に支えられ、全ての行事等を無事に終えることができました。深く感謝申し上げます。

さて、この度の鹿児島県教職員人事異動において、金岳小中学校でも六名の職員が転・退職することになりました。在任中は公私にわたり大変お世話になりました。在任期間は、短い者で一年、長い者で三年とそれぞれですが、金岳小中学校や口永良部島での生活を通して学んだことは、大きな自信と誇りになることと思います。この口永良部島での経験を生かし、四月からの新天地でも活躍してくれることを願っています。

転出に当たって

前田 真喜子 教頭
薩摩川内市立海陽中学校へ

口永良部島に赴任して三年、本当にあつという間感じます。振り返ってみますと、私が赴任した三年前は、噴火による避難生活を終え、口永良部島復興に向けて、島民の方々の団結力や熱い思いに触れる機会も多く、その姿や思い

に、強く胸を打たれたことをはつきりと覚えています。

学校では、豊かな自然に囲まれながら、子供たちと、こんなにも身近に触れ合うことができた。学校教育の正に原点であるこの環境のすばらしさを肌で感じ、多くのことを学ばせていただきました。また、子供たち一人一人の成長を実感できる楽しさは、ここ金岳小中学校だからこそ経験できたことと思います。この金岳小中学校で学んだ経験を大切にすると共に、次の学校でもしっかりと生かしていきたいと思えます。

金岳小中学校の子供たちや、保護者の皆様、島民の皆様には、三年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。これからも、口永良部島の発展と皆様の御活躍を願っています。

中筋 満 教諭
鹿児島市立紫京中学校へ

ここ口永良部島に来て約一年が経ちました。転入のとき、私がこの島に来て感動したことを二つ述べさせていただきます。一つ目は、「人はあるもので豊かになれる。」という言葉、二つ目は、「伊勢エビ」です。この気持ちは一年経った今でも変わりません。

そして、この島で生活する中でも一つ感動したことがあります。それは、「人と人との支え合い」です。みんなが顔見知りだからこそ、互いに支え合って生活しているのだと感じることができました。私自身も様々な場面でみなさんに助けていただきました。本当に感謝しています。

来年度からは、この島を離れます。しかし、ここで学ばせていただいたことを糧に、次の学校でも自分らしさを大切に頑張りたいと思います。一年間本当にありがとうございました。



榎園 玲利 教諭

昨年の四月一日、温かく迎え入れていただいたから、早くも一年が過ぎました。この一年間は、本当に毎日が楽しく、新しい発見の連続でした。周りを見渡せば、美しい自然に囲まれている。船を降りれば、「お帰り。」と当たり前のように温かく出迎えてくださる島民の方々に囲まれている。いつも癒しと元気、笑顔をくれる子供たちに囲まれている。「恵まれて、いるな。」と何度も思いました。こんなに一年間を早く感じたことはなく、充実した日々だったのだと改めて痛感します。生きていく上で必ず必要となる、人への優しさ、人と人との繋がりなど、多くのことを学ばせていただき、「口永良部島に来ることができて本当によかったな」と何度も思いました。

未熟な私でしたが島民の方々、保護者の方々、子供たちに支えていただきながら、自分自身成長することができました。学んだことを忘れず、新天地でも精進していきたいと思えます。本当にありがとうございます。

吉満 健和 教諭

四月一日に鹿児島市内から屋久島フェリーに乗り、フェリー太陽に揺れながら口永良部島に来て、早いもので一年が過ぎました。港に着すると、金岳小中学校の子供たち、そして島民の皆様の温かいお出迎えがあり、私の緊張をほぐしてくれたことを今でも忘れません。口永良部島に来て感じたことは、島民の皆様の「温かさ」です。島民の方と会うと、「健和先生、おはよう。最近どうね？」と笑顔で温かい声をかけてくださり、元気をもらっていました。教師一年目の私にとって、赴任先の学校が、「金岳小中学校」で、本当によかったなと感じています。この一年間、金岳小中学校の先生方、子供たち、島民の皆様の「温かさ」に支えられたことを忘れず、次の赴任先でも、より一層精進してまいります。一年間お世話になりました。

白川 瑞姫 養護教諭

フェリー太陽に揺られ、子供たちや島民の方々の温かい出迎えを受け、初めて口永良部島に来てから一年が経とうとしています。この一年間はとてもあつという間でした。初めての地で、初めての一人暮らし、初めての教員生活など初めて体験することが多く、たくさん刺激を受けた一年でした。

毎日何かの目標に向かって一生懸命頑張る子供たちの姿をこの一年間近くで見えてきて、考えている顔や苦しんでいる顔、色々な子供たちの表情を見ることができました。目標を達成し、やり遂げたときの子供たちの嬉しそうな表情はいつも私を勇気づけてくれました。豊かな自然に囲まれ、素直で元気な子供たちやいつも温かい声をかけてくださる島民の方々がいるこの口永良部島で、教員生活をスタートすることができて本当によかったです。人としてまだまだ未熟な私ではありましたが、一年間本当になりました。ありがとうございました。

大脇 史理 教諭

晴天に恵まれ、フェリー太陽に心地よく揺られながら口永良部島にきてから早くも一年近くが経とうとしています。この一年間を思い返すと、さまざまなことを経験することができました。島での生活、一人暮らし、学校行事、地域の行事など、挙げるときりがなく、いろいろな貴重な経験をすることができました。その中で一番印象に残っているのは、島民合同運動会です。桜さんと千夏さんの二人の団長を中心に完成させた演舞、和馬さんは、エイサーリーダーとして金岳小中学校のみんなを引っ張ってくれました。それらをやり遂げた子供たちの姿を見ると、「先生ってこういう仕事は素晴らしいな」と改めて実感することができました。教員生活の第一歩をここ口永良部島でスタートすることができて本当によかったです。いつか教員として金岳に帰ってくることを楽しみにまた頑張ります。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

進学に当たって

四月から日置市で 高校生活を送る

安永和馬 さん

いよいよ島立ちを迎えました。中学校生活で頑張ったことは、スポーツやさまざまな学校行事です。学習発表会では、台詞を覚えたり、リーダーで演奏したりすることを頑張りました。緊張しましたが、成功すると達成感がありました。また、運動会では校長先生が輪回しの特訓をしてくれました。最初はできなかった輪回しも、だんだんとできるようになりました。本番では緊張で全然できませんでしたが、とても楽しかったです。エイサー部長として、みんなに振り付けなどを教えました。最初は「みんなをまとめられるかな…」と不安でしたが、だんだんとみんなの動きがそろってきたので嬉しかったです。

四月から高校生になります。高校で頑張りたいことは、将来のために福祉の資格を取る勉強を頑張ることです。寮生活など初めてのこともあり不安もありますが、乗り越えていきたいです。

四月から屋久島で 高校生活を送る

貴船 桜 さん

この三年間を振り返り、とても短かったような気もしていますが、とても長かったような気もしています。三年間の間にも多くの経験をすることができました。そのなかでも、特に二つのことが心に残っています。一つ目は、町英語弁論・暗唱大会に参加することができたことです。英語が苦手でしたが、参加することができて本当によかったと思っています。参加したことで、挑戦することの大切さに気付くことができました。二つ目は、生徒会長を務めたことです。生徒会長をすることで、他の人に教えることやまとめることの大変さに気付くこと

ができただけではなく、自分の短所に気付き、それをカバーし自分のよさを生かそうとすることができました。三年間悲しいことや辛いこともありましたが、金岳中学校で学校生活を送ることができて本当によかったです。

四月から屋久島で 高校生活を送る

藤山千夏 さん

私は今年とても貴重な体験をしました。それは、運動会の団長を務めたことです。しっかりとみんなをまとめられるかとても不安でした。最初は、なかなかまとめることができなかったですが、いつまでも人に頼っていてはだめだと感じ努力しました。みんなと協力して、とても楽しい運動会ができてよかったです。そして支えてくれたみんなに感謝したいです。

今までの口永良部島で過ごしてきたので、この島を出ることはとても不安です。口永良部島の島民の方々はとても温かくて、一つの大きな家族のようでした。島民の方のお話を聞くのはとても楽しかったです。島から離れたくない気持ちでいっぱいです。四月からは高校へ行って、三年間しっかりと勉強をし、口永良部島に帰って来て島の役に立ちたいと思っています。充実した時間を過ごせた口永良部島の生活は、とても幸せな時間でした。

四月から埼玉県で 中学校生活を送る

山田悠月 さん

私はこの一年間で、たくさん思い出をつくることができました。島民の方々の優しさにふれ、この島の留学を決めてよかったなと心から感じています。港祭りや夏祭り、島民合同運動会、学習発表会などの行事では、たくさん話をした。たくさん笑顔を囲まれ、温かさにも包まれていたので、落ち込んだとき何度も救われました。また、学校生活の中では、小中学生や先生と合同でサッカーは今までで一番楽しく感じました。人と話す楽しさや、自分の話を聞いてくださる人がいることが、この島では当たり前のようになっていました。しかし、長いよう

短く感じたこの一年ももう終わりに近づき、その当たり前だったことができなくなると思うと、とてもさみしいです。埼玉に帰ってからも口永良部島の経験を生かしていきたいです。そして、受験のためにメリハリを付けた行動ができるように頑張ります。一年間ありがとうございました。

四月から東京都で 中学校生活を送る

増永賢太郎 さん

僕は、口永良部島に二年間、山海留學生として生活してきました。この二年間の生活の中で学んだことを紹介します。

僕が口永良部島に来て一番驚いたことは、島全体が「協力して生活を共にしている」ことです。僕の住んでいた神奈川県では、人と人同士の「温かい」交流はあまり見かけませんでした。しかし、口永良部島は、野菜がなくなると島民の方が野菜をおすそ分けにきてくれたり、夜ご飯を家で、一緒に食べたりすることが、最初来たときに驚きました。また、海岸掃除のときも、島民全員で協力して口永良部島の海をきれいにしていく姿に、とても感動しました。

この二年間、口永良部島で学んだ「人の温かさ」や人と人が「助け合う」大切さを、島立ちをしてからも忘れず、今後の生活に生かしていきたいです。二年間、お世話になりました。

金岳小学校・金岳中学校卒業式

三月十三日（水）、多数の来賓や島民の方々の御臨席のもと、金岳小学校・金岳中学校の卒業式が挙行されました。小学生によるお別れの言葉は、凜とした声で堂々と述べられ、とても感動的なものになりました。また中学校の答辞では、貴船桜さんが、中学校生活の思い出や支えてくださった職員や保護者地域の方々への感謝の気持ちを述べ、島立ちを前に故郷への思いを伝えました。五名の卒業生の気持ちや態度を、金岳小学校・金岳中学校の在校生はしっかりと受け止め、引き継ぎ、伝統を築いていって欲しいと思います。



四月の主な行事予定

日	月	行事
五日	(金)	入学式準備
八日	(月)	新任式・始業式 金岳中学校入学式 PTA運営委員会
九日	(火)	身体計測・視力・聴力検査 いじめ問題を考える週間
十日	(水)	標準学力検査(中) 11日
十一日	(木)	心の教育の日
十二日	(金)	避難訓練(噴火) PTA総会
十六日	(火)	司書補来校(17日)
十八日	(木)	全国学力学習状況調査 (小六年・中三年)
十九日	(金)	児童生徒総会
二十二日	(月)	授業参観・学級PTA 歯科検診
二十三日	(火)	避難訓練(津波)
二十四日	(水)	家庭訪問(25日)
二十六日	(金)	標準学力検査(小) 25日 絵画指導